

高知県関係資料の収集・保存・提供

【特にサービスを活用いただきたい方】
高知県のことを調べている人、高知県に興味のある人、県内の各種団体・機関

第2期サービス計画 R4年度～R8年度

強化・充実のポイント

- 関係機関等との情報共有や収集の分担・調整を進めることにより、資料の散逸を防ぎます。
- デジタルファーストの行政資料等の収集方法を検討します。
- 資料をデジタル化し公開することで、デジタルコンテンツを充実させるとともに、その利用を促進します。

主な取組と計画推進上の検討事項

- 主な取組** ※ ⇒は検討事項
 - 高知県にとって必要な資料の収集
高知県にとって必要な資料が散逸しないように関係機関や各団体、郷土研究者とつながりを持つなどして、貴重な資料の収集に努めます。
⇒関係機関・団体でのさらなる情報共有と連携強化
 - 図書以外の資料の収集
収集が十分でない図書以外の資料(地図、パンフレット、DVD等)について、収集や整理、提供の方法を検討したうえで、収集します。
⇒デジタル情報の収集・保存の先事例等についての情報収集
 - 貴重資料等のデジタル化
優先度に従って、順次、貴重資料等のデジタル化を行い、利用者が手軽に利用できるよう、ウェブ・サイトに登録するとともに、原資料の良好な保存につなげます。
⇒貴重資料のデジタル撮影の実施
 - デジタル化された貴重資料のデータ提供
商品のパッケージ・デザインといった活用等の要望があった場合、データを提供します。
⇒デジタル化された資料のグッズ展開などの検討、ウェブ・サイトでのデータ公開のPR

サービス指標

高知県関連のレファレンス件数

R3年度	R8年度目標
4,078件	4,400件

- 概要**
- 高知県に關係する資料を幅広く収集し、利用に供するとともに、資料を生かし、県民・市民、観光客や移住希望者等に向けて情報発信します。
 - 貴重資料をはじめニーズの高い資料のデジタル化を進め、ウェブ・サイトで公開します。

サービス計画（第1期）H29年度～R3年度

主な取組と成果

- 主な取組**
 - 民間の出版物や行政機関作成資料といった高知県関係資料を積極的に収集
 - 高知県に関連する多岐にわたる調べものに対応
 - 県市それぞれが所有する資料のデジタル化とウェブ・サイトでの公開
 - 展示室で企画展を実施し、県市所蔵の貴重資料を紹介
- 成果**
 - 図書以外のチラシ・ポスター類や行政資料を幅広く収集・整理し、提供することができた。
 - 新型コロナウイルス感染拡大防止のための臨時休館があったが、1日あたりの事項レファレンス件数をR元年度とR2年度で比較したところ、ほぼ同数であった。
 - 新聞やテレビ局へのデータ提供も増加した。
 - 田岡文庫、近森文庫、中城文庫をデジタル化し、ウェブ・サイトで一般公開することができた。
 - 気軽に閲覧することが難しい貴重資料を展示紹介することで、高知の歴史や文化に関する情報発信ができた。



高知市民図書館蔵
近森文庫「城山大進撃西郷決戦之図」明治10年10月9日

レファレンス・サービス実績 (高知資料(件))	年度	H30	R元	R2	R3
	事項		982	1,106	1,023
所蔵		3,809	4,225	2,726	2,814

取組の結果、見えてきた新たな課題

- 廃校となる学校や個人所蔵の高知県関係資料等の散逸防止が文化行政の課題となっています。
- デジタル媒体のみの資料の収集への対応が必要となっています。
- 県市それぞれが所有する資料をデジタル化しウェブ・サイトで公開することで、利用者の利便性の向上を図ることができます。

3

ビジネス・農業・産業支援サービス

【特にサービスを活用いただきたい方】仕事に関する課題を解決しようとする人
(起業や経営改善を検討中の人、転職・転業の希望者、資格取得を目指す人、失業者、移住希望者)

概要及び 目指す姿

- 経済や経営、就業、起業、転職等、課題解決に役立つ6～7万冊の書籍、専門誌、データベース等のビジネスに関連する資料・情報を提供します。
- 気軽に相談できるビジネス支援デスクを設置し、担当司書が、情報収集や調べものをサポートします。
- ビジネスに役立つ講座や相談会等を専門機関等と連携して開催し、図書館活用講座等を実施します。

サービス計画 (第1期) H29年度～R3年度

主な取組と成果

■ 主な取組

- パネル展・製品展示等により、関係団体の広報支援を多数実施
- 従来のデータベースに加え、利用者のニーズに沿った新たなデータベースを導入
- アウトリーチ担当とも協力し、専門機関や行政機関と連携したイベント、展示、セミナー、相談会等を実施
これらの機会に出前図書館や図書館のPRを実施



コロナ関連製品展示の様子



こうちのohana満開プロジェクト

■ 成果

- 県内企業が開発したコロナ関連製品の展示は、マスコミの注目度も高く、販路拡大に貢献した。
- 市農林水産課と連携した「こうちのohana満開プロジェクト」の実施は、花き需要拡大に寄与し、来館者からも好評を得た。
- 自館職員による図書館活用講座や外部講師を招いたデータベース講習会の実施により、利用者の効果的なデータベースの活用を促進できた。
- 専門機関や行政機関との連携の際、出前図書館や図書館PRの実施により、利用者が増加した。

レファレンス・サービス実績(ビジネス (件))

年度	H30	R元	R2	R3
事項	610	976	548	820
所蔵	1,827	1,985	1,251	1,347

取組の結果、見えてきた新たな課題

- コロナ禍を受けて増加する業態転換、転職・転業者への支援強化が必要です。
- 地方への移住希望者が増加する状況において、都市部と同様の読書・情報環境があることは、移住希望者へのアピールポイントになるため、さらにPRが必要です。
- レファレンス・サービスやデータベースについて知ってはいるが、使ったことがないビジネス関係者が多い現状があります。

第2期サービス計画 R4年度～R8年度

強化・充実のポイント

- ☞ コロナ禍を受けてニーズが高まる転職・転業や資格取得等の資料・情報提供を強化します。
- ☞ マンガや動画などで、図書館活用事例を分かりやすく伝えます。
- ☞ レファレンス・サービス、データベースについて紹介するビジネス支援サービス活用講座の定期開催やオンライン開催を検討します。

主な取組と計画推進上の検討事項

■ 主な取組 ※ ⇒は検討事項

- 図書の収集・提供
観光や移住、IT関連、農林水産業等、高知県の課題となっている分野の資料、アフターコロナでニーズが高まる起業や転職、労働関係等、いきいきと働く際に役立つ資料については、重点的に収集し、提供します。
⇒ニーズの把握、収集した資料の提供方法
- 図書館活用事例の広報
レファレンス等、図書館で得た情報がビジネスに役立った事例をマンガなどの様々な媒体で提供します。
⇒事例の創出・収集、プライバシー等への配慮
- ビジネス支援サービス活用講座の実施
情報リテラシー向上のため、図書や雑誌、新聞、データベースなどからビジネスに必要な情報を探す方法、それらの情報の信頼性を確かめる方法を習得するための講座を開催します。
⇒汎用性が高い動画の制作やオンラインでの開催方法
- 他機関と連携したセミナー・相談会等の事業の実施
専門機関等と連携し、セミナーや就労に関する相談会等を開催します。
⇒コロナ下におけるセミナー・相談会の実施

サービス指標

ビジネス・農業・産業支援分野での
レファレンス件数

R3年度	R8年度目標
2,167件	2,400件

健康・安心・防災情報サービス

【特にサービスを活用いただきたい方】自身や地域が抱える健康・福祉・防災等の課題を解決しようとする人
(健康・福祉分野の課題に直面している当事者、当事者の家族、医療従事者、関係機関・団体)

第2期サービス計画 R4年度～R8年度

強化・充実のポイント

- 「アルコール依存症」や「ひきこもり」などの地域の課題や、社会情勢の変化に対応した資料・情報を収集・提供します。
- 図書館活用講座等の実施により、図書館の活用方法を分かりやすく伝えます。
- 専門機関との連携強化によって、サービスを拡充するとともに、社会的課題についての啓発に取り組みます。

主な取組と計画推進上の検討事項

- 主な取組** ※ ⇒は検討事項
 - 図書の収集・提供
高齢者問題・がん・ひきこもり・発達障害・南海トラフ地震対策など、県民・市民の関心の高いテーマについて積極的に資料を収集し、提供します。
⇒収集した資料を活用してもらえるよう、プッシュ型の広報手段の活用
 - 他機関と連携したセミナー・相談会等の共催事業の実施
専門機関と連携し、がんやひきこもり、防災などの社会的課題を理解し、県民・市民の抱える課題の解決につながるイベントを開催します。
 - アウトリーチ・サービスの実施
出前図書館だけでなく、積極的に図書館の活用に向けた「提案」や、サービスの「周知」を行います。また、専門機関とは今後も積極的なつながりを持ち、継続して信頼関係を構築していきます。
 - 広報支援
専門機関の広報物を館内で掲示・配布し、健康・安心・防災に関する課題の理解を促すイベントや課題解決のための相談窓口・制度・支援策などに関する情報を提供することで、広報活動を支援します。
⇒連携を強化するためどのように「提案」「周知」をすれば、関係機関等に図書館をより活用してもらえるのかの検討

サービス指標

健康・安心・防災情報分野でのレファレンス件数

R3年度	R8年度目標
1,774件	1,600件

概要

- 健康・福祉・防災等の分野の課題解決につながる資料・情報を提供・発信するとともに、図書館の活用方法を積極的に周知します。
- 専門機関等と連携してイベントを開催したり、チラシ・パンフレットの配布や企画展示を行ったりすることで、利用者に情報を提供します。

サービス計画（第1期）H29年度～R3年度

主な取組と成果

- 主な取組：専門機関との連携による信頼性の高い情報の提供**
 - 専門機関の発行するチラシ・パンフレットを積極的に収集・配布（防災・地域福祉・地域保健・健康情報等）
 - 専門機関との共催による相談会や講演会等のイベントを積極的に実施（がん相談会・ひきこもりピア相談会・大人の発達障害を理解するセミナー等）
 - パネル展や図書展示、製品展示等を通じた関係機関・団体の広報支援を多数実施
 - 専門機関や各種団体と連携し、利用者や関係機関のニーズに合わせたブックリスト・パスファインダーを作成・配布
 - 常設展示の実施による長期的な情報提供（大人の発達障害・新型コロナウイルス感染症）
 - 図書館活用講座や関係機関訪問等を積極的に実施し、図書館活用をPR



R2年度連携パネル展「図書館発！高知家のがん征圧月間」

- 成果**
 - 複数のチラシやパンフレットをまとめて置くことで、来館者が手に取る機会が増え、幅広く情報提供できた。
 - 専門機関と連携して展示やイベントを行うことで、来館者に信頼性の高い情報が提供できた。
 - 連携した専門機関からは「実際の相談につながった」「他県の機関から問い合わせがあった」等の声があった。
 - 専門機関と連携してブックリストを作成することで、特定分野の資料を効率的に紹介できた。
 - イベントや関連機関の事業内容に合わせたサービス紹介や図書館活用講座の開催により具体的な活用の提案により、新規利用登録等、講座後の利用拡大につながった。

土佐リハビリテーションカレッジ講師と共同寄稿「図書館にて介護予防事業を実施することの一提案」図書館雑誌、VOL.115 NO.7 2021-7 1172号。

年度	H30	R元	R2	R3
事項	348	718	554	577
所蔵	1,349	1,256	899	1,197

取組の結果、見えてきた新たな課題

- 課題解決を支援していくうえでは、利用者や関係機関のニーズに沿った資料・情報提供が必要です。
- 図書館の活用方法について、サービスが必要な人や機関に認知が広まっていない現状があります。
- 健康・福祉・防災分野の解決すべき課題について、県民・市民の理解を広める必要があります。

行政支援サービス 【特にサービスを活用いただきたい方】高知県庁・高知市役所の職員、公立学校教職員

第2期サービス計画 R4年度～R8年度

強化・充実のポイント

- 資料提供について、登録や貸出し・返却の効率的な運用方法を検討します。
- 図書館活用講座を開催して、情報検索技術の向上を図ります。
- メールマガジン等を使って、図書館活用事例を紹介します。

主な取組と計画推進上の検討事項

- 主な取組** ※ ⇒は検討事項
 - 各組織・機関への貸出し
業務での図書館活用を促進するため、登録や貸出し・返却について効率的な運用方法を構築します。
⇒高知市内学校向け団体貸出についての運用
 - 図書館活用講座の実施
情報を探す方法、情報の信頼性を確かめる方法などを習得するための講座を開催し、行政職員の情報リテラシーの向上を図ります。
⇒オンラインや動画による非来館型での実施、ガイドブックと合わせたPR方法
 - 図書館活用事例の広報
レファレンス等、図書館で得た情報が役立った事例をメールマガジン等で発信します。
⇒レファレンス協同データベースへの登録、メルマガの配信頻度や分量の見直し、活用事例まंगाの新規作成
 - 各組織・機関と連携した取組の実施
施策に対応した講座やイベント、企画展示等の場を提供するとともに、館内で関連図書の展示や紹介を行います。また、各機関・組織のチラシやパンフレットなどの配布を行います。
⇒コロナ下における講座・相談会等の実施

サービス指標

図書館と連携した課題解決支援のための図書館サービス説明等の実施

R3年度	R8年度目標
56回	56回

概要

- 高知県庁と高知市役所の職員が、行政運営や政策立案を行う際の情報収集や調べものを図書館司書がサポートします。
- 多数の人が訪れる当館の強みを生かし、各組織・機関と連携した講座・イベントの開催やパンフレット等の配布を行い、政策・施策の推進を支援します。

サービス計画（第1期）H29年度～R3年度

主な取組と成果

- 主な取組**
 - 行政機関が実施する講座や、行政職員研修等で出前図書館や図書館のPRを継続的に実施
 - 高知県や高知市、県内市町村の新規採用職員研修時に図書館活用講座を継続的に実施
 - 県市各課と連携しパネル展示や図書展示の実施、図書館活用事例まंगाやブックリスト等を作成
 - メールマガジンを毎月県市各課に配信し、行政向けのさまざまな図書館サービスの情報を提供
- 成果**
 - PRを実施した講座や研修の参加者からレファレンスの依頼があるなど、PRの効果が出ている。
 - 高知県労働委員会事務局と連携してブックリストを作成した取組等により、R元年度に労働委員会事務局が知事賞を受賞。
 - 高知県移住促進課や高知県発達障害者支援センター、高知県産学官民連携・起業推進課と連携して図書館活用事例まंगाを制作することで、効果的にレファレンス・サービスを周知し、利用の促進につなげることができた。



高知市いきいき健康チャレンジ2021 応援講座（共催：高知市健康増進課）



パネル展示「路面電車展」（連携：高知市くらし・交通安全課）



高知県農業振興部広報打合せ会での図書館活用講座



活用事例まंगा No.1（連携：高知県移住促進課）

取組の結果、見えてきた新たな課題

- 令和2年度に実施したアンケート結果から、行政職員が業務上の課題解決のため、図書館の資料を活用する機会が少ないことがわかりました。
- 多くの方が訪れる当館の強みを生かし、各組織・機関と連携した講座・イベントの開催やパンフレットの配布等で、県市の施策の推進を支援する必要があります。

児童サービス

第2期サービス計画 R4年度～R8年度

強化・充実のポイント

- ▶ 動画等を含む多様な手段により、子どもたちの情報リテラシーの向上を図ります。
- ▶ 「子育て応援コーナー」での情報提供を強化します。
- ▶ 絵本の読み聞かせや図書の紹介等の取組の継続について、イベント・研修の場を通じて、子どもに関わる大人への働きかけを行っていきます。

主な取組と計画推進上の検討事項

- **主な取組** ※ ⇒は検討事項
- 情報リテラシーの学習機会の提供
図書館見学や動画などの機会を生かし、自らコンピュータで資料や情報を検索する方法や図書の分類の仕組み等を学ぶ機会を提供します。
⇒図書館見学時に提供するデータベース・インターネットの使い方の講座など、年齢や希望に応じたプログラムや動画の作成
- 子どもと本を結びつける行事の実施
小さな頃から子どもが本に親しみ、また、保護者も子どもの読書に関心を持つように、読み聞かせ、ストーリーテリングなどを定期的に行います。
- 保護者やボランティアなどへの読み聞かせなどの普及
家庭や学校で読み聞かせや図書の紹介等が行えるように、民間団体などと連携しながら研修会や講座を実施し、具体的なアドバイスも行います。
⇒館外の機関やボランティアと協力しながら、活躍の場への橋渡しとなる講座や勉強会の開催し
- 子育て支援に関連する資料や情報の提供
「子育て応援コーナー」から、関連する各コーナーの資料へと案内できるように、ブックリストやパスファインダーを作成します。
⇒内容を充実させるため、関連機関との連携強化

サービス指標

こどもカウンターでのレファレンス
受付件数

R3年度	R8年度目標
7,154件	7,900件

概要

- 子どもたちの心や成長によりそい、豊かな読書経験を培う手助けをするとともに、生涯学習の基礎となる情報リテラシーの向上を図ります。
- 子育てに関わる大人や子どもの読書活動を支える大人に対する支援を行います。

サービス計画（第1期）H29年度～R3年度

主な取組と成果

- **主な取組**
- 子ども向けの各種おはなし会（乳幼児向け、児童向け、手話によるもの）を定期実施
- 児童向けのオリジナル図書館紹介動画等を作成し、図書館見学で活用
- 読み聞かせなど、子どもと絵本をつなぐ活動を普及するため、保護者やボランティアなどへの連続講座・勉強会を定期開催
- 子育て応援コーナーで、育児に関する本や保育園入所申込みなど子育て関連情報を提供
- **成果**
- おはなし会の会場に絵本や子育ての本を展示し、貸出しにつながった。乳児向けのおはなし会はリピーターも多い。
- それぞれの子どもの理解度に応じた、動画やニューラルした見学用スライドが好評を得た。
- 「大人のためのおはなし会」を企画し、勉強会参加者の成果を発表する場を提供できた。
- 保護者や教員、保育士向け研修で、おはなし会や図書館サービス、子育て応援のPRを行うことができ、利用登録や貸出しにつながった。



おはなし会の様子

見学用スライド



取組の結果、見えてきた新たな課題

- 読書の楽しみに加え、生活や仕事に必要な情報は図書館で得られるということ子どもたちから学ぶことができる環境が求められています。
- 子育てに関わる大人を図書館として応援する取組が必要です。
- 子どもが読書始めるきっかけとなる取組を効果的に進めていくために、多くの人材の協力が必要です。

ティーンズ・サービス

【特にサービスを活用いただきたい方】高知県内在住の13～18歳の中学生、高校生等

第2期サービス計画 R4年度～R8年度

強化・充実のポイント

- ティーンズ世代を対象とした情報リテラシーの学習機会を提供します。
- ティーンズ世代の視点を生かし、同世代同士の交流を通じた読書普及活動を行います。
- 不登校の生徒等を対象に、専門機関と連携しながら、図書館の持つ資源を生かして学びの場を提供します。

主な取組と計画推進上の検討事項

- 主な取組** ※ ⇒は検討事項
 - 情報リテラシーの学習機会の提供
図書館の本の探し方や調べ方、情報リテラシー（情報の収集や整理、評価、活用の方法、知識）を向上させるため、講座等を行います。
⇒図書館見学時の講座実施、コロナ下でも開催できる実施方法
 - ティーンズを主体とした読書普及活動の実施
県内各地の中高生世代と協同して読書推進活動を行うため、「オーテピア・ティーンズ部」の部員を公募し活動を行います。
⇒ティーンズ部員が参加できる行事の企画、意見を出しやすい環境づくり
 - 他機関と連携した取組の実施
専門機関へ積極的に働きかけを行い、連携し、さまざまな事情を抱えるティーンズへ図書館の学びの機会を提供します。
⇒関係機関の訪問、非来館でのティーンズへの情報提供の工夫、連携展示の企画
 - ブログ、SNSの活用
PR誌とあわせ、SNSの特徴を活かしたPRを行います。図書館利用者から委員を公募したり、協力者を募るなど、工夫しながら行います。
⇒ティーンズに親和性のあるSNSの導入検討

サービス指標

ティーンズからの投稿件数

R3年度	R8年度目標
23件	50件

- 概要**
- ティーンズ世代の多様な興味・関心に応える本や学習内容を深めることのできる本等を提供します。
 - イベント・企画展示の実施やPR活動等により、図書館利用のきっかけづくりと読書機会の創出に取り組めます。

サービス計画（第1期）H29年度～R3年度

主な取組と成果

- 主な取組**
 - 資料の面展示やリフレッシュを定期的に継続して実施（ティーンズコーナー所蔵資料約1万1千冊）
 - 部活本や地元の高校図書部の本棚などティーンズ世代の関心を引く展示を実施
 - 『オーテピアティーンズ部』を企画・活動開始（県内全域のティーンズが当館を中心にSNSを介して、気軽に図書館や同世代の仲間と関わりあうことができるようにすることが目的）
 - 支援協力担当とともに県立学校、不登校児童生徒の支援機関を訪問し、サービスについて説明
 - 夏休み図書館活用イベント「新聞DBを使ってみよう・図書館の本で調べてみよう」を実施
 - ティーンズ向け簡易パスファインダー「ぼけぱす」を新規発行
 - ビブリオバトルの開催（令和2年度はコロナのため中止、令和3年度はオンライン開催）
- 成果**
 - 過去2年以内のティーンズ・コーナー所蔵資料は9割以上が貸出されており、利用者のニーズに応えることができている。
 - 『オーテピアティーンズ部』は令和2年度に募集を開始後、延べ21人が加入した。現在は13人で活動中。
 - サービス説明を受けた学校から、利用登録や連携展示の申込み、図書館活用講座などの依頼あり。
 - DBの認知度が低いティーンズ世代に対し、情報の探し方についてPRできた（参加者延べ10人）。
 - ビブリオバトル参加者 延べ153人（発表者44人、観戦者109人）。



地元高校図書部との連携展示の様子

取組の結果、見えてきた新たな課題

- ティーンズ世代に向けた情報リテラシー向上支援の充実が必要です。
- 同世代同士の働きかけによる読書活動の推進を強化する必要があります。
- 不登校の生徒等に対する教育機関としての支援方策を検討する必要があります。

概要

- 日本語を学習するための資料のほか、地域で生活するためのさまざまな情報や知識を、外国語やさしい日本語で提供します。
- 異文化を知るきっかけや、多様化する高知県在留外国人の生活に役立つ情報を提供します。

サービス計画（第1期）H29年度～R3年度

主な取組と成果

■ 主な取組

- 外国語の図書や雑誌、新聞、公的機関が発行する日々の生活に役立つリーフレットの収集。電子図書館でも日本語学習用資料や、外国語の図書・雑誌を収集
- 英語の他、韓国語、中国語など外国語書誌作成・整理
- ブックリスト、パスファインダー、多言語の利用案内、チラシを作成・提供
- 非来館型サービスとして、外国語のおはなし会の動画を配信
- 多文化理解のための展示の実施（関係団体との連携展示、姉妹・友好都市に関する展示（常設展）など）
- 外国語のおはなし会や、関係団体との連携イベントの実施など、外国の文化にふれる機会を提供
- やさしい日本語による館内ツアーなど、在留外国人に向けた図書館活用のPR
- 「高知県外国人材確保・活躍戦略」へ参画
- 関係団体の協力のもと、在留外国人に対するニーズ調査を実施

■ 成果

- 主要な外国語雑誌や新聞、日本語学習用資料を収集・整理することで、多様な利用者に向けた情報提供ができた。
- さまざまな利用者にとって使いやすい図書館となるよう、やさしい日本語表記を活用するなどニーズに応じた情報提供やサービスの見直しを行った。
- 日本語学習中の外国人対象の館内ツアーが好評。利用登録、貸出しなど図書館利用につながった。
- 利用者の多文化理解につながるイベントを関係団体等と連携して実施。併せて図書館サービスをPRすることで、図書館の利用促進につながった。
- 職員向けに研修を実施したことで、やさしい日本語に対する職員の関心が高まった。



やさしい日本語による館内ツアーの様子

取組の結果、見えてきた新たな課題

- 高知県在留外国人が日本語を学習するための資料のほか、地域で生活するためのさまざまな情報や知識を、母語や理解しやすい内容で提供する必要があります。
- 県内在留外国人のニーズを把握し、図書館サービスが届いていない県内在留外国人等へ、必要な情報を届けていく必要があります。

第2期サービス計画 R4年度～R8年度

強化・充実のポイント

- ☞ 多言語版やさしい日本語を使った図書館利用案内を作成・配布し、在留外国人等の図書館利用を促進します。
- ☞ 県内で暮らす在留外国人等が、必要な情報へたどり着けるよう情報リテラシーの向上を支援します。

主な取組と計画推進上の検討事項

■ 主な取組 ※ ⇒は検討事項

- 日本語習得のための資料の収集・提供
日本語を学ぶ人や教える人に役立つ資料や、読みやすく理解しやすい日本語の資料を収集し、提供します。
⇒収集した資料を活用してもらうための広報手段
- 情報活用のサポート
有用な情報を集めたパスファインダーやリンク集を作成したり、やさしい日本語を使った館内ツアーを行ったりすることで、利用者が求める情報へアクセスしやすい環境を整えます。
⇒ことばと国際交流コーナーの配置や、館内の掲示物や案内表示の見直し
- 他機関等との連携
これまで図書館サービスが届いていない県内在留外国人のニーズを把握するために、関係機関と連携し、情報収集します。
⇒より効果的な情報収集の方法の模索
- 各種催しなどの実施
外国語による絵本の読み聞かせやおはなし会、外国の文化についての講演会等、地域で生活する外国人との交流を図るための催しなどを実施します。
⇒参加者の図書館サービス利用につながるようなイベントの開催

サービス指標

ブックリストやパスファインダーの提供数

	R3年度	R8年度目標
提供数	15種	31種

概要

- 高知声と点字の図書館と連携し、図書館利用に障害のある人に配慮したサービスを提供するとともに、サービスの積極的なPRを行います。
- 多様な資料やサービス手段、コミュニケーション手段、ユニバーサル・デザインの考えに沿った利用しやすい環境を整える。

サービス計画（第1期）H29年度～R3年度

主な取組と成果

■ 主な取組

- 大活字本・LLブックは全点収集。布絵本などさわる絵本の収集、展示。SNS等での紹介。
- バリアフリー図書展示用セット『さくらバリアフリー文庫』の作成と貸出し
- 対面音訳サービスの充実（レファレンスや相互貸借にも対応、携帯電話・スカイプを活用しリモートや利用者と音訳者別室での音訳にも対応）とともに、チラシを作成し、関係機関へ配布。
- ボランティアスキルアップ講座を開催し、受講時の研修内容の差による知識・技術の偏りを是正
- 手話のおはなし会を実施。手話による動画を作成
- 手話の職員研修を定期的実施
- 点字版・音声版・やさしい言葉で書いた利用案内等を作成し、盲学校など関係機関へ配布
- 宅配貸出サービス紹介動画を作成しYouTubeで公開

■ 成果

- 大活字本の貸出点数はオーテピア開館前から大幅に増加した。
(H29年3,426点⇒R2年7,085点)
- 『さくらバリアフリー文庫』の貸出しによりバリアフリー資料の利用や市町村立図書館でのバリアフリーサービス拡充につながった。
- さわる絵本の常設展示、まんが解説資料の展示により展示資料の貸出点数が増加した。
- リモート音訳サービスの拡充により利用者の利便性が向上し、新規登録者が増加した。



感染防止対策として対面音訳は利用者と音訳者が別室で実施



宅配貸出サービス紹介動画

取組の結果、見えてきた新たな課題

- コロナ禍において、図書館利用に障害のある人へのサービスとして、非来館型サービスをより充実する必要があります。
- 知的障害者や発達障害者等へ提供する新たなサービスの検討が必要となっています。
- アンケート結果では、当館の図書館利用に障害のある人へのサービスを知らないという回答が多かったため、サービスを必要とする人に届くPRが必要です。

第2期サービス計画 R4年度～R8年度

強化・充実のポイント

- ④ 対面音訳サービス等について、非来館によるサービス提供を強化します。
- ④ 知的障害者等を対象とした代読（やさしい読み上げ）サービスの実施を検討します。
- ④ 学校・施設や関係機関等への訪問や多様な媒体を活用した広報により、サービスの普及・啓発を図ります。

主な取組と計画推進上の検討事項

■ 主な取組 ※ ⇒は検討事項

- 来館が困難な方への宅配貸出サービスの実施
障害や病気によって図書館への来館が困難な方には、図書館の負担による宅配便で自宅等に資料を届けます。
- 対面音訳サービスの実施
対面音訳室での実施と来館が困難な人へはリモートによる音訳サービスを、高知声と点字の図書館と連携・協力して実施します。
⇒新規利用者の登録推進のため、サービスを必要とする人への広報
- やさしい読み上げサービスの実施
知的障害者等を対象に、資料をわかりやすく読み伝えるサービスについて、高知声と点字の図書館と検討を進めます。
⇒実施方針や運営方法等
- サービス対象者への広報・「やさしい利用案内」の普及
サービス対象者が直接つながる学校・施設や関係団体等への訪問等や多様な媒体の活用により、資料やサービスを紹介し、利用を促します。
⇒訪問やイベントへの出前図書館、関係団体等への図書館活用講座の実施

サービス指標

	R3年度	R8年度目標
○宅配サービスの利用延べ件数	32件	60件
○対面音訳サービスの延べ利用件数	971件	780件

第2期サービス計画 R4年度～R8年度

強化・充実のポイント

- 市町村立図書館等における課題解決支援サービス実施への支援を強化するため、動画等を活用した研修機会の提供と協力貸出用資料の充実を図ります。
- ブログ等を活用し、市町村立図書館等への情報提供を強化します。
- 移動図書館の運行について、図書館未設置町村への重点化を図ります。

主な取組と計画推進上の検討事項

- 主な取組** ※ ⇒は検討事項
 - 巡回訪問や依頼訪問等による支援
県の東部・中部・西部各ブロックの担当司書が、巡回訪問や依頼訪問等により、運営やサービスの充実に向けた相談等の支援を行います。
 - 情報提供
ブログなどを活用し、資料の紹介や県内図書館等が行っている取組など市町村立図書館等の業務に役立つ情報の発信を行います。
⇒各自治体に応じたフォローアップの方法
 - 研修の実施
市町村立図書館の職員等に対して、経験年数に応じた階層別の研修や希望のテーマに応じた研修等を実施し、人材の育成を支援します。
⇒研修動画の作成・配信など県内各地の職員が参加しやすいような方法での実施
 - 課題解決支援サービス実施への協力
市町村立図書館等において課題解決支援サービスに取り組むことができるよう、事例の紹介や提案を行います。
⇒各自治体が取組みやすいメニューの提案
 - 移動図書館による支援
移動図書館を図書館未設置町村を中心に運行し、読書活動や新しい資料へのアクセスを支援をします。
⇒各自治体に応じた支援の実施

サービス指標

協力貸出点数

R3年度	R8年度目標
36,201点	35,000点

概要

- 協力貸出等の物的支援や市町村職員を対象とした研修事業等の人的支援により、県全体の図書館サービスの充実と職員のスキル向上に努めます。
- 東部・中部・西部の各ブロックの担当職員を置き、課題解決支援サービスのノウハウ等の共有など、各市町村の状況等にに応じた支援を行います。

サービス計画 (第1期) H29年度～R3年度

主な取組と成果

■ 主な取組

- 市町村支援用の資料を購入し、移動図書館やセット貸出等、各市町村の環境に合わせた方法で提供
- 物流サービスを拡充することにより、相互貸借や個人利用者の遠隔地返却等の利便性を向上
- 高知県立図書館職員や外部講師による市町村立図書館職員への研修の実施
- ブロック担当司書を配置し、巡回訪問・依頼訪問による支援を実施

■ 成果

- タイムリーなテーマの貸出セットを作成することにより、専用ブログで紹介するとすぐに貸出しになるなど、市町村立図書館等での企画展示に活用されることが増えた。
- 市町村の図書館だよりや自治体の広報誌で、協力貸出や遠隔地返却などの当館のサービスが掲載され、認知度が向上した。
- 経験年数に応じた研修を実施することにより、市町村職員のスキルアップの機会を提供できた。
- 巡回訪問や依頼訪問によりニーズを把握し、選書等に生かすことができた



市町村での研修の様子

協力貸出点数 (点)			
H30	H31/R1	R2	R3
22,245	31,031	32,332	36,201

取組の結果、見えてきた新たな課題

- オーテピア高知図書館で実施している課題解決支援の取組を、各市町村立図書館の実態に合わせたうえで実施し、サービス向上に結び付ける必要性があります。
- 市町村別の読書・情報環境に応じた支援が必要です。
- 県内の図書館未設置市町村へは、特に支援を強化する必要があります。

第2期サービス計画 R4年度～R8年度

強化・充実のポイント

- ☞ 分館・分室の利用ニーズに合ったブックリストやパスファインダーを作成・提供します。
- ☞ 授業に役立つ団体貸出セットなど、学校教育現場のニーズに即した資料を提供します。
- ☞ 各館室の利用者ニーズを全体で共有し、職員の資質向上に役立つ研修会を実施するなどして、利用サービスの向上に努めます。

主な取組と計画推進上の検討事項

- 主な取組 ※ ⇒は検討事項
- ブックリストやパスファインダーの提供
分館・分室利用者のニーズに合ったブックリストやパスファインダーを作成し、提供します。
⇒分館・分室において効果的に活用できる運用方法の確立
- レファレンス・サービスの充実
館室間のネットワークを活用し、分館・分室においても、レファレンス・サービスの迅速な提供に努めます。
⇒情報共有や研修、事例研究の蓄積によるレファレンス能力の向上
- 学校図書館との連携
授業に役立つ単元に即した資料など、学校が求める資料の団体貸出を行います。また、学校図書館支援員研修への対応など、学校現場のニーズに沿った、より有効な支援や資料提供の充実に取り組みます。
⇒学校現場のニーズを把握するための手段の構築及び運用
- 接遇力の向上
分館・分室職員のコミュニケーション能力、傾聴力等の向上のため接遇研修を定期的実施します。
⇒サービスを実践するうえで効果的な研修の再検討と実施

サービス指標

	R3年度	R8年度目標
○ 6分館・15分室と移動図書館の利用者数	291,836人	28万人
○ 6分館・15分室と移動図書館の貸出点数	1,351,071点	1,316,000点
○ 市内小中学校等への団体貸出点数	10,170点	11,200点

概要

- オーテピア高知図書館(本館機能)と6つの分館、15の分室、2台の移動図書館が一体となり、高知市内全域で図書館サービスを展開します。
- 児童生徒の主体的、意欲的な学習活動や読書活動を支えられるように、高知市内の小・中学校、義務教育学校、特別支援学校との連携・協力を強化します。

サービス計画 (第1期) H29年度～R3年度

主な取組と成果

■ 主な取組

- 分館・分室でのレファレンスに速やかに回答できる体制の構築
- 学校図書館支援員研修に講師として館の職員が参加
- 市民図書館分館・分室、移動図書館の提供している各サービスについてのPRを実施
- 毎月1回、本館と分館・分室職員による業務協議研修会を開催し、情報を共有
- 分館・分室職員の接遇力向上のための研修を実施

■ 成果

- グループウェアの活用により分館・分室で受け付けたレファレンスに速やかに回答ができ、利用者の利便性が向上した。
- 学校図書館支援員研修で事前アンケートを実施し、現場のニーズに即した効果的な研修ができた。
- ウェブ・サイトや広報誌でのPRや、図書館見学の継続的な受入れにより、地域に根差した図書館としての役割に対する理解が深まった。



新しくなった
移動図書館バス
(2021.3)



リニューアルした
潮江分館
(2020.7)

取組の結果、見えてきた新たな課題

- 分館・分室でのブックリスト・パスファインダー活用状況を把握し、利用に結び付ける取組が必要です。
- 学校図書館とより緊密に連携し、ニーズの把握およびニーズに即した資料を提供することが求められます
- 分館・分室、移動図書館のさらなる利用促進を図ることが必要です。

第2期サービス計画 R4年度～R8年度

強化・充実のポイント

- 積極的に学校訪問し、学校のニーズを把握します。
- ブログ等を活用し、学校図書館活動に役立つ情報等を提供します。
- オンラインでの研修開催や、YouTubeを活用するなど動画による研修を検討していきます。

主な取組と計画推進上の検討事項

- 主な取組** ※ ⇒は検討事項
 - 資料の貸出しやレファレンスへの協力
県立学校等へ、要望するテーマに応じた資料の一括貸出等を行います。また、レファレンスの支援を行い、参考資料を提供します。
⇒資料提供の利便性等の向上や、小規模校や実習助手未配置校の利用を促進するためサービス説明の強化
 - 訪問等による連携・協力
学校訪問を行い、サービスの周知や、学校司書等との連携を図ります。また、要望に応じて運営やサービスの充実に向けた相談等の協力を行います。
 - 情報提供
ブログ等を開設し、カリキュラムに関連するブックリストや、学校図書館活動に役立つ情報等を提供します。
 - 学校司書等の研修への協力
市町村立図書館職員に対して実施する研修について、県立学校等への情報提供を強化し、学校司書等のスキルアップに協力します。
 - 出前講座等の実施
学校図書館の要望に応じ、生徒を対象とした保育実習のための読み聞かせ講座や、教職員を対象とした図書館活用講座を実施します。
⇒学校職員が場所・時間にとらわれず図書館活用講座を受講できるよう、動画の作成・配信

概要

- 生徒たちが読書を楽しみ、自ら必要な資料・情報を探し活用して学ぶ力を身につけるよう、生徒たちにとって身近な学校図書館と連携・協力して支援を行います。
- カリキュラムや生徒のニーズに対応する資料の収集・提供等により生徒の学びを支えるとともに、教職員等に対する研修や講座等を実施します。

サービス計画 (第1期) H29年度～R3年度

主な取組と成果

■ 主な取組

- 県立学校担当司書を配置し、学校訪問を通じてサービスの説明等を実施
- 学校現場のニーズに応じた貸出セットを作成し、学校訪問の際に積極的にPR
- 物流サービスの対象を県内すべての高等学校・特別支援学校に拡充し、利便性を向上
- 学校司書等のスキルアップ支援のため、市町村立図書館等職員研修への参加を全高等学校に対して案内
- 産業教育PRイベントや連携展示等を実施し、学校の魅力や生徒の活動を積極的に図書館でPR

■ 成果

- 校長や学校司書等に直接サービスの説明を行ったことで、オーテピア開館前と比べ、貸出冊数が約5.8倍に増加したほか、図書館活用講座の実施につながった。
- SDGsやLGBTQ等の、関心の高い社会問題に関する資料を購入したところ、多くの貸出し利用があった。
- 県立及び私立学校ともに学校司書の研修への参加が増加・定着したことによって、相談しやすい関係づくりが一層進んだ。
- 学校のニーズ等の把握が進むことにより、具体的な図書館活用方法の提案ができるようになり、新たな利用拡大につながった。



R3年度連携 産業教育PRイベント



R3年度連携パネル展
「県立高校における新しい学び」



約5.8倍

H29度	475冊
R2度	1,491冊
R3度	2,758冊

取組の結果、見えてきた新たな課題

- 各校の特色に応じた連携・協力や図書館活用教育推進のあり方の検討が必要です。
- 市町村立図書館等と同様にブログ等によるこまめな情報提供が必要です。
- 遠方の学校や、実習助手未配置校は、研修への参加が少ない傾向があるため、時間や距離に関係なく、受講できる研修を検討する必要があります。

サービス指標

団体貸出点数

R3年度	R8年度目標
2,758点	2,200点

第2期サービス計画 R4年度～R8年度

強化・充実のポイント

- ☞ 商店や商店街に役立つ資料を収集するとともに、貸出し・返却の運用方法を検討します。
- ☞ 商店街や日曜日等の情報発信について、関係各課と連携を強化します。
- ☞ 商店街の方に向けた図書館サービスや活用事例を発信します。

主な取組と計画推進上の検討事項

- 主な取組 ※ ⇒は検討事項
- 個々の商店や商店街全般に役立つ図書等の収集・提供
商店経営の仕方、商品ディスプレイのノウハウなど、個々の商店や商店街の振興全般に役立つ図書や雑誌・新聞等を収集し、提供します。
⇒ニーズの把握、商店街施設の方と交流する機会の創出
- 商店街や宿泊施設等への団体貸出
商店街や宿泊施設等への団体貸出について、ニーズを把握しながら、実施に向け検討します。
⇒ニーズを踏まえた運用方法の構築、時期を見据えた利用の促進
- 商店街や日曜日等の情報発信
商店街や関係各課と連携し、商店街や日曜日等の生活市に関する情報を収集し、1階エントランス・ロビー等で情報発信します。
⇒関係課との連携強化、商店街や日曜日等の情報の効果的な発信方法
- 図書館サービスのPR
商店街の方に向けて、図書館のサービスや活用事例などを発信します。
⇒実施方法や実施時期
- 文化施設との連携
文化施設と連携し、イベントや関連展示、各機関の専門性を生かした講座等を実施し、文化的な側面から、中心部の賑わい向上に寄与します。
⇒コロナ下における各施設との連携のあり方、各施設の職員の専門性を生かして協力し合えるような、質の高い連携

概要

- オーテピア高知図書館の資料・情報、司書の専門性、利便性の高い立地といった資源を活用し、中心市街地の活性化に寄与します。
- 文化施設等の周辺施設と連携・協力し、各施設の強みや機能を充実・強化させ、互いの施設の利用促進や情報発信等につなげます。

サービス計画（第1期）H29年度～R3年度

主な取組と成果

■ 主な取組

- 観光関連のチラシ・パンフレット類の収集・提供
- 「まちゼミ」や「土曜夜市」等、商店街のイベントと協働した取組の実施
- オーテピア開館1周年記念として『よさこい鳴子踊り・しばてん踊り体験イベント』を実施
- 周辺の文化施設等と「お城下ネット」を組織し、お城下文化手帳の作成や連携イベントを実施

■ 成果

- 観光情報及び商店街や日曜日等の広報について、1階エントランスホールなどでチラシを配布し、情報発信に寄与できた。
- 観光分野の情報については、コンテンツ・ツーリズム関連展示の実施や観光支援サービスの動画を公開し、図書館の活用を促進できた。
- 「まちゼミ」や「土曜夜市」への継続的な参加や主催イベントの実施等により、集客や賑わいに寄与できた。
- お城下ネット開催の「お城下文化の日」に参加し、施設同士が連携した取組により事業の普及と集客に寄与できた。



第12回まちゼミ
「津波からのサバイバル」



お城下文化の日での
リサイクル本の配布

帯屋町2丁目歩行者通行量(人)

	平日	休日
開館前 H29.6	6,630	12,378
開館後 R1.6	8,244	14,835
比率(R1/H29)	124.3	120.0

取組の結果、見えてきた新たな課題

- 商店や商店街への資料提供を増やしていく必要がありますが、そのためには貸出し・返却の利便性の向上が必要です。
- 日曜日等の街路市事業について、情報発信における連携が不十分という課題があります。
- コロナ禍における商店街や文化施設との新たな協働のあり方の検討が必要です。